



飛翔



1 学年通信 号外 (1 学年リレー通信)

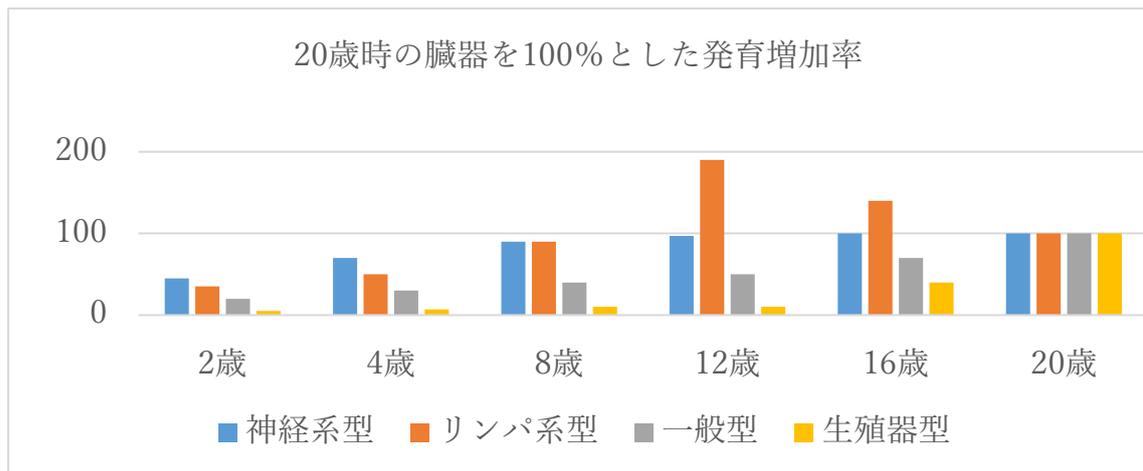
発行人 1 年 2 組担任成田佳子

令和 2 年 5 月 28 日 No.24

最も発育・発達する時期→幼児期・思春期 !!

皆さんお元気ですか。この休校期間の中で、皆さんの幼児期の様子を、ぜひ、ご家族に聞いてみてください。「昆虫の名前をすらすら言えたよ!」「絵本の内容をすべて覚えてお話ししてくれたよ!」など素敵なエピソードが聞けるはずですよ。そうなのです! 幼児期は何でも簡単に暗記できる時期です。下記のグラフは「スカモンの発育曲線」を増加率別に示したものです。このグラフから、幼児期の神経系型の増加率が非常に大きいことが読み取れます。

スカモンの発育増加率 (* 1 参照)



* 1 スカモン< 1883 - 1952 >の発育曲線 (Scammon growth types)

アメリカの人類学者 R,スカモンが提唱した人体各器官の発育過程の 4 型。出生直後と 14 歳頃を中心に発育の著しい一般型 (身長、呼吸器、消化器、腎臓、膵臓、筋、骨、血液)、6 歳頃までに成人の 90%に達する発育を示す神経型 (神経系)、13 歳頃を中心に急速に発育する生殖器型 (内生殖器)、思春期前に最大値に達し、以後成人するまで減少するリンパ型 (胸腺、リンパ筋) などに分けられる。

日本には「三つ子の魂百までも」という諺 (ことわざ) があります。確かに、幼いときに習得したこと (例: 自転車に乗る など) は生涯忘れることはありません。ただ、上記のグラフは平均的・標準的なものなので、全ての人間の発育が 20 歳で完了するわけではありません。皆さんはこれから更に発達・発育し続けていきます。今が、学力を伸ばすことのできる非常に重要な時期です。この時期を大切に過ごしていきましょう!!